関東地方

名前

問1　地形図において、国道20号線を示す太い道路に対して、旧街道である甲州街道が直角に交わり、アルファベットの「T」の字のような形状で合流している地点があります。このような形状の交差点を何と呼びますか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. スクランブル交差点
2. 環状交差点（ラウンドアバウト）
3. 十字路
4. 丁字路（丁字型交差点）

問2　埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の4都県を比較した統計資料において、東京都の「昼夜間人口比率」が118.1%であるのに対し、周辺3県はいずれも100%を下回っています。この数値の差が示している地域間の人口移動の実態について述べたものとして、正しいものはどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）

1. 周辺3県には大学や事業所が東京都よりも集中しているため、昼間に周辺3県へ向かう人が東京都より多い。
2. 東京都は周辺県から通勤・通学者の流入がある一方で、周辺3県は東京都などへ流出する人口の方が多い。
3. 周辺3県は東京都よりも地価が高いため、夜間に東京都へ戻って就寝する人が多くなっている。
4. 東京都は夜間人口が昼間人口よりも多いため、周辺3県に比べて夜間の電力消費量が極めて多い。

問3　千葉県は、巨大な消費地である首都圏に隣接しているという立地条件を活かした農業が盛んです。2021年の統計によると、農業産出額に占める割合は野菜が35.9%と最も高く、次いで畜産が31.0%となっています。このように、大都市の周辺で行われる、新鮮な農作物を市場に供給する農業の形態を何といいますか。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 施設園芸農業
2. 近郊農業
3. 促成栽培
4. 土地利用型農業

問4　日本の諸地域の位置関係や特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 群馬県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は前橋市である。
2. 栃木県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は宇都宮市である。
3. 茨城県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は水戸市である。
4. 埼玉県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地はさいたま市である。

問5　首都圏の外縁部に位置する茨城県では、近年、人口増減率がマイナス0.59パーセントを記録し、高齢者割合も約30パーセントに達するなど、人口減少が進行しています。このように死亡者数が出生者数を上回ることで生じる人口の減少を何と言いますか。（2021年 徳島県公立入試 類似）

1. 社会減
2. 社会増
3. 自然減
4. 自然増

問6　千葉県香取市の佐原地区について述べた次の文のうち、この地域の景観や土地利用の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、この地域の地形図では、鉄道駅の北側には水田が広がり、小野川沿いには古い町並みや史跡を示す記号が密集しています。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 佐原駅の北側を中心に、大規模な工場が立ち並ぶ工業地帯が形成されており、地域の経済を支えている。
2. 駅周辺の市街地を再開発し、歴史的な遺構をすべて撤去して最新の商業ビルを集積させている。
3. 小野川から離れた丘陵地帯に、近代的な高層マンションが立ち並ぶニュータウンが整備されている。
4. 利根川の支流である小野川沿いに、江戸時代の風情を残す歴史的建造物や伊能忠敬旧宅などの史跡が保存されている。

問7　1960年代には集落のすぐそばまで遠浅の海が迫っていた千葉県木更津市の沿岸部について、その後の地形図の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 中央官庁や地方自治体の施設が移転・集積し、県内の政治・行政の中心地へと変化した。
2. 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。
3. 遠浅の海を活かした大規模な水田開発が進み、県内最大の穀倉地帯へと変化した。
4. 海岸沿いに広大な針葉樹林が植栽され、林業を中心とした地域へと変化した。

問8　東京23区への通勤・通学者の交通手段について、鉄道利用率が全国平均の2倍以上という極めて高い水準にある現状を踏まえ、大規模災害時に「帰宅困難者」が大きな社会問題となる理由として最も適切な説明はどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 自家用車を利用して通勤・通学する人が多いため、道路が渋滞して救急車両の通行を妨げるため
2. 郊外の公共交通機関が発達していないため、避難所から自宅へ戻る方法がなくなるため
3. 都市部への流入人口が年々減少しており、災害時に救助活動を行う人手が不足するため
4. 多くの人々が居住地から離れた場所に集まっており、鉄道の停止によって長距離の移動手段を失うため

問9　東京都心部の地価が周辺の郊外地域に比べて著しく高くなっている主な理由として、都市の機能と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。
2. 都心部には広大な農地や工業用地が確保されており、食料生産や製造業の拠点としての需要が集中しているため。
3. 都心部は建物の高さ制限が郊外よりも厳しいため、1階あたりの土地利用料を高く設定する必要があるため。
4. 都心部は郊外に比べて人口密度が低く、豊かな自然環境を維持するための管理費用が地価に上乗せされているため。

問10　茨城県の産業の特色について、地形的条件と消費地へのアクセスの観点から述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 険しい山地が多いため、斜面を利用した果実の栽培が中心であり、内陸部の工業団地から出荷される電子部品などの製造品出荷額が全国有数である。
2. 沿岸部の平地が限られているため、複雑な海岸線を利用した養殖業が盛んであり、製造品出荷額の大部分を食料品加工業が占めている。
3. 広大な平地を利用した稲作が農業の大部分を占めており、製造業よりも農業に特化した産業構造を持つため、製造品出荷額は近隣県に比べて低い。
4. 平地が多く山地面積が比較的小さいため、広大な土地を利用して首都圏などの大消費地に向けた野菜を栽培する近郊農業が盛んであり、製造品出荷額も極めて高い。

問11　東京の南約1000キロメートルに位置する父島や母島などの島々からなり、第二次世界大戦後はアメリカの統治下に置かれましたが、1968年に日本に返還された地域はどこですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 奄美群島
2. 伊豆諸島
3. 沖縄諸島
4. 小笠原諸島

問12　千葉県は、昼間人口比率が約89.7となっており、全国的に見ても夜間人口に比べて昼間人口が少ない傾向にあります。このような人口動態が千葉県などの大都市周辺の県で顕著に見られる背景として、最も適切な理由はどれですか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 成田国際空港の利用客や観光客が昼間に多く流入するものの、それ以上に夜間の居住者の増加ペースが速いから。
2. 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。
3. 京葉工業地域などの臨海部に職住近接の住宅街が形成され、県内での移動のみで生活が完結する世帯が増えたから。
4. 高度経済成長期に整備されたニュータウンの高齢化が進み、県内での生産活動に従事する現役世代が減少したから。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 丁字路（丁字型交差点）	一つの道路が別の道路に突き当たる形で接続し、地図上でアルファベットのTの字（漢字の「丁」の字）に見える交差点を丁字路と呼びます。国道20号のような主要な幹線道路と、甲州街道のような歴史的な旧道が交差する地点では、道路の整備時期の違いからこのような形状が見られることがあります。
問2	答え 2 東京都は周辺県から通勤・通学者の流入がある一方で、周辺3県は東京都などへ流出する人口の方が多い。	昼夜間人口比率とは、夜間人口（その場所に住んでいる人）に対する昼間人口（昼間にその場所にいる人）の割合のことです。この比率が100%を超える東京都は、外部から多くの人が入ってくる「流入超過」の状態にあります。一方で、100%を下回る周辺の3県は、その県に住んでいる人が仕事や学校のために東京都などの外へ出ていく「流出超過」の状態であることを示しています。これは東京都の住宅地の平均地価が高いことが一因となり、周辺県が「ベッドタウン」としての役割を担っていることを表しています。
問3	答え 2 近郊農業	大都市の周辺で、消費地に近い利点を活かして行われる農業は近郊農業と呼ばれます。千葉県は東京などの巨大な消費地に隣接しており、輸送距離が短いことから、鮮度が重要視される野菜や、需要の高い畜産物の生産が非常に盛んです。特にねぎやほうれん草などの生産量は全国でもトップクラスとなっています。
問4	答え 1 群馬県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は前橋市である。	群馬県は関東地方の北西部に位置し、三国山脈などを通じて新潟県と接しています。関東地方の他の県（茨城、栃木、埼玉、千葉、神奈川）や東京都は新潟県とは接していません。また、群馬県の行政の中心地である県庁所在地は前橋市に置かれています。
問5	答え 3 自然減	茨城県では、出生者数よりも死亡者数が多い状態である「自然減」が人口減少の主な要因となっています。進学や就職による転出・転入の差を指す「社会増減」に対し、出生・死亡の差を「自然増減」と呼び、現在の日本各地でこの自然減による人口減少が課題となっています。
問6	答え 4 利根川の支流である小野川沿いに、江戸時代の風情を残す歴史的建造物や伊能忠敬旧宅などの史跡が保存されている。	香取市佐原は、利根川水運の中継地として栄えた歴史を持ち、現在も小野川沿いには当時の面影を残す蔵造りの商家などの歴史的建造物が立ち並んでいます。この地区は国の「重要伝統的建造物群保存地区」にも選定されており、日本地図を作成したことで知られる伊能忠敬の旧宅もこの川沿いに位置しています。地形図上でも、駅北側の水田地帯とは対照的に、川沿いに建物や史跡の記号が密集している様子が読み取れます。
問7	答え 2 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。	木更津市の沿岸部は、高度経済成長期以降に遠浅の海が大規模に埋め立てられ、京葉工業地域の一部として発展しました。地形図上では、かつての海岸線よりも海側に「木材港」といった地名や大規模な工場、発電所、それらを結ぶ「みなと大橋」などのインフラが整備されている様子が確認できます。針葉樹林や水田が広がったという事実はなく、官公庁の集中も見られません。
問8	答え 4 多くの人々が居住地から離れた場所に集まっており、鉄道の停止によって長距離の移動手段を失うため	東京23区には周辺の神奈川・千葉・埼玉各県から膨大な数の人々が流入していますが、その多くが鉄道を移動手段としています。地震などで鉄道が止まった際、数10km離れた自宅まで徒歩で帰ることは困難であり、無理に帰宅を試みる人が道路に溢れると救助活動の妨げにもなるため、一時的な待機施設の確保などの対策が進められています。
問9	答え 1 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。	大都市の中心部では、中枢管理機能（官公庁や企業の本社）や高度な商業機能が集中しています。限られた面積の土地に対して、多くの企業や商店が進出を希望するため、激しい競争が起こり地価が押し上げられます。これに対し、郊外は主に居住空間としての役割を担い、都心ほどの集約的な土地利用が行われないため、地価は相対的に低くなります。このような地価の差は、都市内部の同心円的な構造を形成する要因となります。
問10	答え 4 平地が多く山地面積が比較的小さいため、広大な土地を利用して首都圏などの大消費地に向けた野菜を栽培する近郊農業が盛んであり、製造品出荷額も極めて高い。	茨城県は関東平野に位置し、平地が多いため大規模な農業経営に適しています。特に東京などの大消費地に近い利点を生かした近郊農業が発展しており、野菜の産出額は全国でもトップクラスです。また、鹿島臨海工業地帯などに代表される臨海部の工業発展により、農業だけでなく製造品出荷額も非常に大きいという、農工両面で高い生産性を持つのが特徴です。
問11	答え 4 小笠原諸島	小笠原諸島は行政区分では東京都に属しており、1968年にアメリカから返還されました。1972年に返還された沖縄県や、サンフランシスコ平和条約の発効とともに1953年に返還された奄美群島との時期の違いを区別しておくことが重要です。
問12	答え 2 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。	千葉県は東京の郊外に位置しており、優れた交通網を背景に多くの人々が東京23区内へ通勤・通学しています。昼間はこれら多くの住民が県外へ移動するため、県内に留まる、あるいは県外から流入する人口を、流出する人口が大きく上回ります。その結果、昼間人口比率が100を下回り、90未満という極めて低い数値を示す要因となっています。